

緑内障解析における パラダイムシフト

～GMPE(Glaucoma Module Premium Edition) で何がわかる?～

日時:平成28年4月9日(土) 11:55~12:55

会場:第4会場(仙台国際センター 2F桜1)

※本セミナーは整理券制となります。

日本語訳
スライド
上映付き

座長



富田 剛司 先生

(東邦大学医療センター大橋病院眼科)

緑内障に関する眼底画像解析は、緑内障性視神経変化の重要な特徴が乳頭陥凹の三次元的拡大である以上、視神経乳頭をめぐる解析が主体となってきました。これに関して、今まで我々が当然であると考えてきた、眼底写真あるいは眼底鏡で見えるあの視神経乳頭が、実は本当の視神経乳頭ではない!と言われたら驚かれるでしょうか。人間の眼では判断できない新たな視神経乳頭構造変化の評価法をスペクトラリスが提案しています。これは、長い緑内障診断の歴史上画期的なことであり、パラダイムシフトとともにブレイクスルーを予感させるものであります。本セミナーでは、スペクトラリスの新しい緑内障解析ソフト、GMPE の開発者の一人である、Claude Burgoyne 教授も参加していただき、緑内障解析の新しい流れを3人のエキスパートの方々に解説していただきます。難しい話じゃないか?とのご心配は無用です。自身が開業医でもある山岸先生が第一線の外来での使い方もやさしくお話しされます。どうぞみなさん、奮ってご参加ください。

演者



Deep Optic Nerve Head Phenotyping
in Glaucoma

Claude Burgoyne 先生

(Devers Eye Institute)

演者



PPA 解析のパラダイムシフト：
OCT で分類し定量する時代へ

大久保 真司 先生

(金沢大学・おおくぼ眼科クリニック)

演者



GMPE による極早期緑内障の診断

山岸 和矢 先生

(ひらかた山岸眼科)

HEIDELBERG
ENGINEERING